

## 「文化と平和」京都宣言

私たちが、千玄室大宗匠の発意により、2004年から日本、中国、韓国で巡回開催してきた「東アジア茶文化シンポジウム」ならびに「パネルディスカッションー東アジアの文化と平和ー」は、本日、ここ京都の地で第10回を迎えました。

この間、日中韓3カ国の研究者、文化人が一堂に会し、茶文化研究の学術的交流と東アジア地域の友好関係の促進、また世界の平和と安定のための文化の役割と可能性について議論を深めてきました。

「和は、天下の達道なり」、「和をもって貴しとする」。茶道は世界平和に貢献できる文化の一つであり、文化は平和と幸福の礎であることを改めて確認しました。

これまでの成果を踏まえ、私たちは、以下のように宣言します。

1. 私たちは、東アジアの友好関係を促進するために、茶道精神及び茶文化を社会に発信し続けます。
2. 私たちは、ユネスコの文化多様性宣言を尊重し、東アジア諸国の相互理解に欠くことのできない「和」の精神を大切にします。
3. 私たちは、「一碗からピースフルネスを」を目標に、世界の人々の文化交流の促進と平和共存の実現に努めます。

2015年10月31日

京都市、日本

第10回東アジア茶文化シンポジウム

第10回パネルディスカッションー東アジアの文化と平和ー